

スプラッシュフェスティバル

8月9日(日) ~ 8月11日(火)

IN 兵庫県立兔和野高原野外教育センター

	午前	午後	夜
1日目	施設に向け出発	水鉄砲大会	作戦会議
2日目	野外炊飯、フェス準備	スプラッシュフェスティバル	キャンプファイヤー
3日目	清掃・思い出工作	施設を出発・解散	

一日目： 自慢の水鉄砲を携えて尼崎に集合しました。そこからバスに乗り、施設まで向かいました。道中でははじめましてのメンバーと徐々に打ち解けていく様子が伺えました。施設に到着し、昼食を済ませると早速、水鉄砲を使ってレクリエーションを行いました。初めは個人で頑張っている様子ばかりでしたが、時間と共にチームプレーを見られるようになり、考えて行動されていました。夕食は食堂でいただきました。ボリューム満点の食事にお腹一杯になりました。夜は二日目の本番に向けての説明と作戦会議をしました。寝る直前までどうすれば勝てるか話し合っているグループもあり、どのような試合になるのか楽しみです。



二日目： 起床時間前より元気な声が各部屋から聞こえてきました。今日は朝から大忙しです。朝食は験担ぎを兼ねて【朝カレー】を野外炊事として作りました。どのグループも手早く作る事が出来、何度もおかわりをして、美味しく食べておられました。朝食の片付けを済ませると、午前中はユニフォーム作りと色水作りをしました。自分達のグループを表す絵や文字を描き、やる気をより起こしていました。そして重たい水を運び、色水の素を入れると、みるみる色が変わっていく様子に興奮と驚きを隠せませんでした。昼食を済ませると、ついに今回のメインイベント【スプラッシュフェスティバル】の開始です。昨日の水鉄砲大会に比べ、どのグループも作戦を立てておられ、頭脳戦が繰り広げられていました。「当てられずに当てる」難しさを噛み締めながら、楽しそうにキャンプ場内を巡っておられました。間の休憩を挟み後半戦に入ると、『ワリダー』と呼ばれる第三勢力が現れたので、時にはグループの垣根を越えて、協力されている様子が伺えました。終わりと同時に本当に楽しめたのでしょう、やりきった笑顔がどのメンバーからも見られました。夜はキャンプファイアをしました。リーダー達の楽しいレクリエーションに、最後の力を振り絞って大いに盛り上がり、楽しまれました。入浴後は、就寝前におやすみされている方が沢山おられました。



三日目： 二日目に比べ、起床時の部屋の様子はとても静かな雰囲気でした。徐々に部屋から出てくる様子は皆眠そうにされていました。眠たい体を頑張っておこし、身支度と片付けに勤しみました。朝食はパンをいただきました。この辺りからようやくエンジンがかかりだし、いつもの元気な声を聞くことが出来ました。午前中はキャンプの思い出を記すために【焼き板工作】を行いました。自分達でガスバーナーを使って焼き目を付け、擦り、グループ内で話し合っ、キャンプ中の場面を描きました。どのグループも印象に残っている場面は異なっており、オリジナルな作品が完成しました。昼食を食堂で済ませ、フェスティバルの結果発表です。色の付け具合、よく動かれていた、チームワークなどを考慮して優勝を決めました。優勝チームに拍手と景品を贈るととても喜んでおられました。同時に他のグループにも健闘を称えお互いに拍手を贈りました。そして施設を出発しました。帰りはゆっくりと各々の時間を過ごされていました。長いようであるという間の三日間でした。



<キャンプ総括>

「スプラッシュフェスティバル」は初の試みのキャンプであり、試行錯誤をしながらも無事に終えられた事に、皆様のご協力に心より感謝致します。初日よりメンバーのワクワクが溢れ出ている様子が伺えました。キャンプは普段は予想できないプログラムを体験出来る事に価値が見出されますが、今回はゲームの世界観を体験出来る事から、予想出来る楽しみがあったかと思えます。そして、そこに【予想以上】の楽しさを提供出来る事がキャンプの可能性となります。今回は初めてにしては大満足のいく結果だったと思えます。『やってみたいを実現できる』可能性をキャンプを通して伝えて参ります。

(竹中 哲郎)